

桜中だより

長崎市立
桜馬場中学校
校長 大塚 潤

私の未来は私が切り拓く

なりたい自分をいつかイメージしよう

あけましておめでとうございます。2024年、新しい年が始まりました。昨年は新型コロナウイルスの感染状況が落ち着き、いろいろなことが元の生活に戻り始めた年でした。なかでもスポーツの大会には多くの人が集まって

応援ができるようになりまし。野球のWBCやサッカー、ラグビーのワールドカップなど様々なスポーツで日本代表選手の活躍がニュースになり、「将来、自分もあんな選手になりたい」と新たな夢をもった人もいたことで

しょう。新しい年も、世界中の子供が、安心・安全に過ごし、将来に夢をもてる年になるようにと願っています。

正月のテレビ番組で、あるスポーツ選手が、「今年の抱負は何ですか」とインタビューを受けていまし

た。「抱負」とは何か？国語辞典で調べると、「心の中にもっている考えや計画」とあります。その選手が、今年自分が何を目標にするのか、目標達成のためにどんなことに頑張りたいかについて、じっくりと考えながら、目を大きく開いて話す姿から強い意志が伝わってきました。皆さんも今年の抱負を語ってみませんか。例えば「バスケットボールで15分ドリブルの練習をする」。このように、なりたい自分をイメージし、

具体的な何をするのかを決め、いろんな人に話してみよう。「抱負」は心の中にもつものがありましたが、私はそれを言葉で表すことが大切だと思っています。なぜなら、言葉は力になるからです。「言ったからには頑張ろう」と自分を奮い立たせることができます。また、家族やクラス、部活のみんなに紹介することで、周りの人が応援してくれます。一緒に頑張ってくれる友達がいいます。皆さんが、なりたい自分に近づくと、今年も応援していきます。

さて、3学期は「まとめの学期」であると同時に「つなげる学期」。学習面・生活面・心身の3つの面で、次の学年を意識した生活を送ってほしい。3学期は「0学期」みんなの意識を「0学期」に変えてほしい。そして、そう意識することによって、「自分で自分を変える」ことにチャレンジしてほしい。「格のあがり」「スタジールや健康を自分で管理し、遅刻や欠席をしない」「SNS・スマホと上手に付き合う」ことなど。人は必ず「変わる」ことができます。「変わる」ためには、何かを「変える」こと。自分の意志で勇気を出して「変える」こと。ぜひ、3学期取り組んでほしい。

次に2年生。最上級生となるための心を磨いてください。4月からは桜中の表看板。学校や学級の一員として、地域の一員として、何をすべきか、何をしたいいけないか、最上級生としての責任とは何なのか、そんなことを考えながら生活してください。まさに、「考動力」が試されます。3年生が築き上げた素晴らしい伝統と校風を、しっかりと引き継ぎ、浦山生徒会長・徳永・森川副会長を中心に豊かで明るい、温かい、活気のある生徒会活動を展開し、さらなる高みを目指してほしいと思います。

最後に1年生。新入生を迎える心を磨いてください。4月には新入生が入学してきます。皆さんは先輩となります。信頼される先輩となってください。そのために、挨拶や履



門松づくり、新執行部のみんなで頑張ってくれました

物そろえ、忘れ物をしない、家庭学習・キュビナを頑張ること、321運動など基本的な生活習慣をしっかりと身につけてください。生徒会活動に積極的に取り組み、1人1人が学級や学年・地域のリーダーとして育ってほしいと思います。

夢をもっている者だけが夢を実現することができません。目標をもっている者だけが目標に近づけることができます。努力したもののだけが見ることができ景色があります。昨日の自分を越えていこう。「高い志」強い覚悟をもって、新しい自分づくり、新しい学校づくりに挑戦してください。

今日からの最も短い学期を、最も密度の濃い学期に、希望にあふれる学期にしましょう。



夢をもっている者だけが夢を実現することができません。目標をもっている者だけが目標に近づけることができます。努力したもののだけが見ることができ景色があります。昨日の自分を越えていこう。「高い志」強い覚悟をもって、新しい自分づくり、新しい学校づくりに挑戦してください。

今日からの最も短い学期を、最も密度の濃い学期に、希望にあふれる学期にしましょう。

2学期を振り返って

1年4組

2学期を振り返って良かったところと課題があわせて3つあります。

1つ目は、家庭学習に積極的に取り組んだことです。特にキュビナには力を入れ、3ヶ月で2000問以上解いた教科もありました。しかし、英語と数学はほとんど解いておらず、実際、期末考査では数学と英語だけは圧倒的に低く、家庭学習の偏りを感じました。冬休みが明けるとすぐの実力考査が始

12/25 桜中食堂 おもてなしありがとう



まるので、全ての勉強時間に差が出ないように、苦手な教科から逃げずに勉強に励んでいきます。2つ目は、周りを見られるようになったことです。手が空いていれば、配り物を配ったり、手伝いをしたりと、自分にできることを精一杯頑張りました。しかし、何度か人任せになってしまったり、仕事を忘れてしまったり、ちゃんとしていない人への注意が甘かったりと、自分でも責任感が足りないと感じました。実際、1年4

組では合唱コンクールでクラスがより一層団結したけれど、11月後半くらいから、321運動をしなかったり、授業中の私語が増えたり生活の乱れが見られました。注意が甘かったり学級委員としての自覚が足りなかったと思います。3学期では強く注意し、僕らもあと少しで2年生という緊張感をもたせ、行動一つ一つに責任感をもって行動します。

3つ目は、発表を積極的にしたことです。1学期よりも多く積極的に発表・発言をし、自分の考えを深めることができました。ただ、時々、自分の考え直しの発言で共に授業を受けている人を嫌な気持ちにさせてしまったり、木津付けてしまいました。だから3学期では発言する前にちよっと立ち止まって他の人が傷つかないような言葉を選び発言します。

2年3組

僕たち2年生は2学期が終わり、3年間の中学校生活の半分以上が過ぎました。2年生の2学期は修学旅行などの行事がとて多く、大変でした。まず合唱コンクールです。2回目の合唱コンクールだったので、1年生のときよりも更に実行委員を中心に自分たちで練習計画を立て取り組むことができました。僕の学級は賞を取ることはできませんでしたが、練習を重ねていくにつれて歌声がまとまり、本番では最高のハーモニーとなりました。合唱コンクールの活動を通して協力することの大切さに気づくことができました。

合唱コンクールが終わったらずに修学旅行で、休みが全然なかったように感じます。修学旅行ではたくさん場所に行きました。研修時間が少ない場所もありましたが、2年生全員が時間を守り、時間を大切にすることができました。また新幹線の乗り降りがとてもスムーズにできました。実は、練習したときとは座席の位置が反対になってしまっていました。この判断で全員が対応できたからうまくいったと思います。この修学旅行を通して、2年生の学年目標である『考動力』が実行できました。

そんな2学期の反省としては、行事が続いて自分も含め全体的に落ち着きがなかったように感じました。例えば、学習面では、授業中、私語が多かったり、提出物がありそろわなかったりすることがありました。また、生活面では、時と場所をわきまえない言動に注意を受けたり、学年の仲間に対しての思いやりのない言動で指導を受けることもありました。来年には、受験も控えているので、指導をされるなどと言ったとはなくしていきたいです。

3学期は学年の締めくくりの学期でもあり、3年生になり準備の学期で1番短い学期なので、気を緩めずに、2年生全員で協力して、学習や行事に精一杯取り組み、3年生のスタートをしっかりと切れるようにしたいと思います。

表彰伝達 おめでとう

◆世界平和祈念ポスター標語展 佳作
被爆者の「生きたかった」を伝える日
我今思う 8月9日

努力賞

- 『戦争の 悲惨さ伝える 柱時計』
- 『捨てようよ 戦争したい その気持ち』
- 『語り部の思いを繋ぐ 私たち』
- 『届けよう 長崎の思い 世界へ』
- 『次世代へ平和の心 届く日の語り部は そう私たち』
- 『被爆者が伝えてくれた 恐ろしさ これから先は 私たち』
- 『戦争のない 世界だけが 平和な世界と いえるのだろうか』

◆第70回長崎市小中学校科学教育展 優秀賞

努力賞

- ◆令和5年度JA共済小中学生書道コンクール 半紙の部 銀賞・条幅の部 特別賞
- ◆長崎県農林部長賞
- ◆令和5年度長崎県中学生ビブリオバトル大会 奨励賞
- ◆長崎市中総体新人大会バスケットボール競技 準優勝 女子バスケットボール部
- ◆第16回県中学生バドミントン新人セカンド大会 第3位